

平成 25 年 6 月 7 日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 2 件
(うち石油ストーブ(開放式) 1 件、油だき温水ボイラ 1 件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 4 件
(うちモップ絞り器 1 件、電気洗濯機 1 件、温水洗浄便座 1 件、電気冷蔵庫 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 4 件
(うち脚立 1 件、カーペット 1 件、換気扇 1 件、
脚立(アルミニウム合金製) 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 東陶機器株式会社（現 TOTO株式会社）が製造した温水洗浄便座について （管理番号A201300173）

① 事故事象について

異臭に気付き確認すると、東陶機器株式会社（現 TOTO株式会社）が製造した温水洗浄便座を焼損する火災が発生していました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ接続部において、部品メーカーにより特定期間内に製造したコネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動により、メッキが剥がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱しました。その影響により、コントローラー基板上のはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、平成19年4月16日にホームページへ情報を掲載し、翌17日に新聞社告を掲載するとともにダイレクトメールの送付等を行い、また、同社製品全般の修理の際に、修理会社を通じ注意喚起及び対象製品についての無償点検・改修（コントローラと熱交換器の交換）を実施しています。

なお、今回の事故を受け、対象製品について更なる無償点検・改修を呼び掛けるため取組を検討中です。

③ 対象製品等：製品名、製品番号、製造番号、製造期間、改修対象台数

製品名	製品番号	製造番号			製造期間
温水洗浄便座一体形便器	TCF975***	4S93*****	4S03*****	4S13*****	1999年3月 ～ 2001年12月
	TCF970***	4S94*****	4S04*****	4S14*****	
	TCF965***	4S95*****	4S05*****	4S15*****	
	TCF960***	4S96*****	4S06*****	4S16*****	
	TCF945***	4S97*****	4S07*****	4S17*****	
	TCF940***	4S98*****	4S08*****	4S18*****	
	TCF910***	4S99*****	4S09*****	4S19*****	
		4S9X*****	4S0X*****	4S1X*****	
		4S9Y*****	4S0Y*****	4S1Y*****	
		4S9Z*****	4S0Z*****	4S1Z*****	
		4S01*****	4S11*****		
		4S02*****	4S12*****		

※ 製品番号の「***」には無表記またはアルファベットが表記されています。
製造番号の「*****」にはアルファベットと数字が表記されています。

平成19年4月16日からリコールを実施

改修対象台数 180, 559台

改修率 77.0%（平成25年5月31日現在）

対象製品の外観及び確認方法

1) 対象製品の外観



正面写真



手洗なし

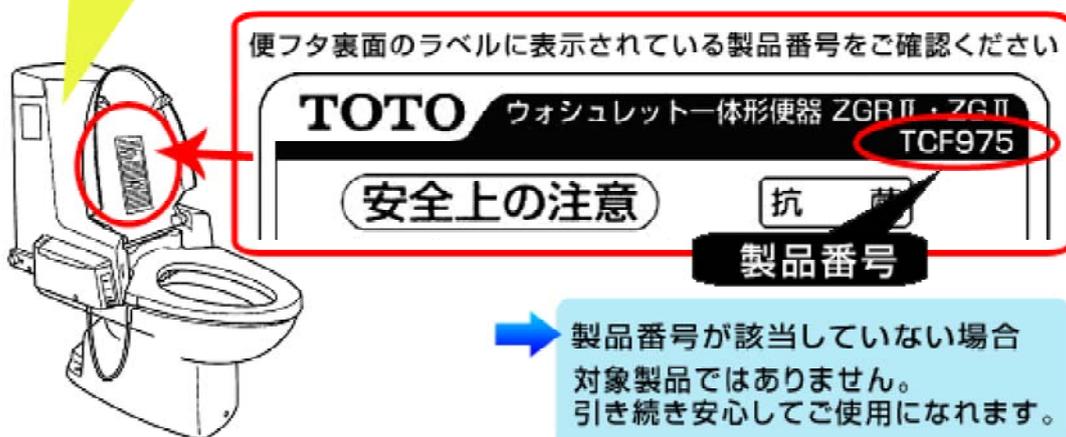


手洗つき

2) 対象製品の確認方法

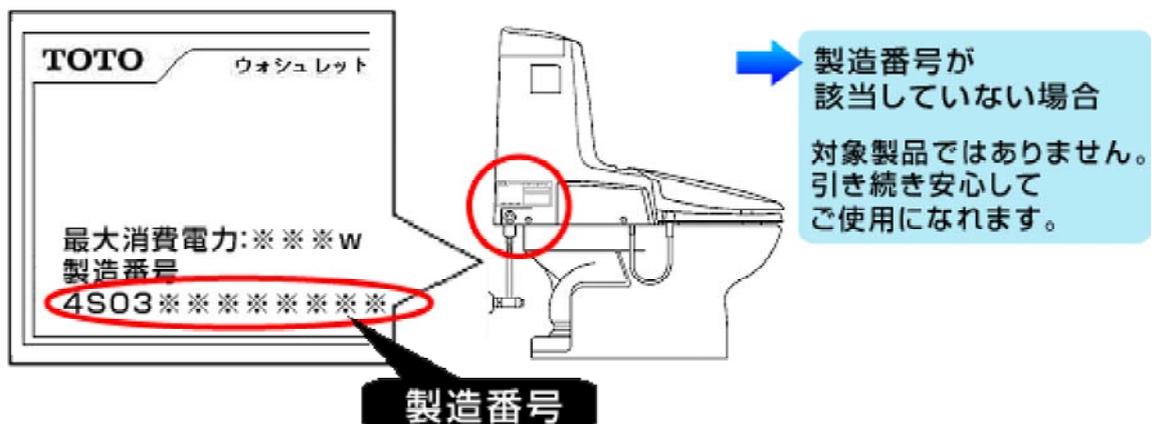
- ・ 製品番号の確認

本製品はタンクの部分がプラスチックで出来ています。



- ・ 製造番号の確認

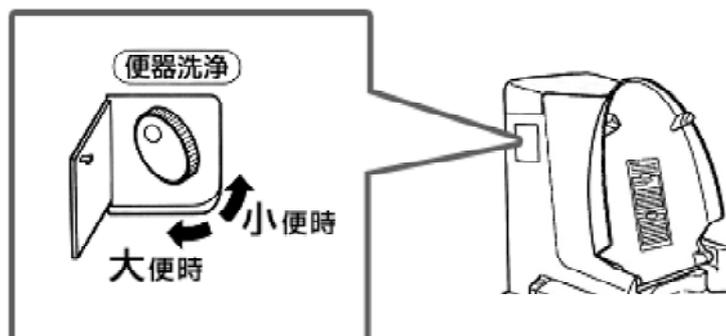
製造番号の先頭(左から)4桁の数字を確認して下さい。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、コンセントプラグを抜き、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、リモコン便器洗浄タイプの製品については、コンセントプラグを抜いても下図のように手動で使用できます。



(TOTO株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-10-7296 (携帯電話・PHS可)

受付時間：9時～17時 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く。)

ホームページ：<http://www.toto.co.jp/News/wl/index.htm>

(2) シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫について (管理番号A201300176)

①事象について

異臭に気付き確認すると、シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー (起動用電気部品) 内のPTC素子 (電流を制御する部品) の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損して製品の内部部品を焼損する火災に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種 (下記③) について、事故の再発防止を図るため、平成24年4月16日にプレスリリース、翌17日に新聞社告を行うとともに、ホームページに情報を掲載し、また、販売店を通じて使用者にダイレクトメール等で呼び掛け、対象製品について無償点検・部品交換 (始動リレー (起動用電気部品) の交換)) を実施しています。

また、同社は、平成25年3月7日から同社の会員登録を通じたメールマガジンでリコール情報の案内を行い、更に、同年4月4日からリニューアルしたチラシを同社製品全般の修理依頼があった際に配布するとともに、全国の消費者センターへ配布を行い、引き続き注意喚起及び無償点検・部品交換を呼び掛けています。

③対象製品等：製品名、機種型式、対象製造番号、製造期間、改修対象台数

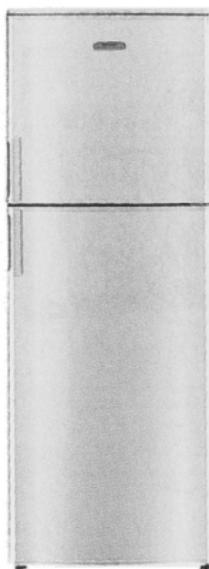
製品名		機種型式	対象製造番号	製造期間	改修対象台数	
電 気 冷 蔵 庫	シャープ ブランド	SJ-350JB(-H)	全ての製造番号	平成8年12月 ～ 平成13年3月	15,600台	
		SJ-E35KC(-H)			26,300台	
		SJ-EX357(-H)			20,300台	
		SJ-EX447(-H)			29,700台	
		SJ-V35WB(-H)			3,400台	
		SJ-V35WC(-H)			4,500台	
		SJ-W358D(-G/-H)			6,500台	
		SJ-W359D(-C/-H)			10,200台	
		SJ-W35A(-G/-H)			73,380台	
		SJ-W35B(-G/-H)			74,920台	
		SJ-WA35C(-C/-H)			130,672台	
		SJ-WE38A(-G/-H)			68,245台	
		SJ-WE44A(-G/-H)			54,300台	
		SJ-WH350(-C)			8,400台	
		SJ-WH380(-C)			7,900台	
		SJ-WJ440(-H)			4,300台	
		SJ-WS350(-H)			1,700台	
		SJ-E30B(-W)			10010001～10019910	80,600台
		SJ-E30B(-C)			20010001～20059210	
	SJ-E30B(-H)	30010001～30031480				
SJ-23B(-H)	全ての製造番号	48,780台				
SJ-23D(-C/-R)		60,373台				
SJ-S407(-H)		5,500台				
無印良品 ブランド	SJ-R35C			1,510台		
合 計					737,080台	

※ 表中()内は色調コードです。

平成24年4月16日からリコールを実施
改修率 20.7% (平成25年4月30日現在)

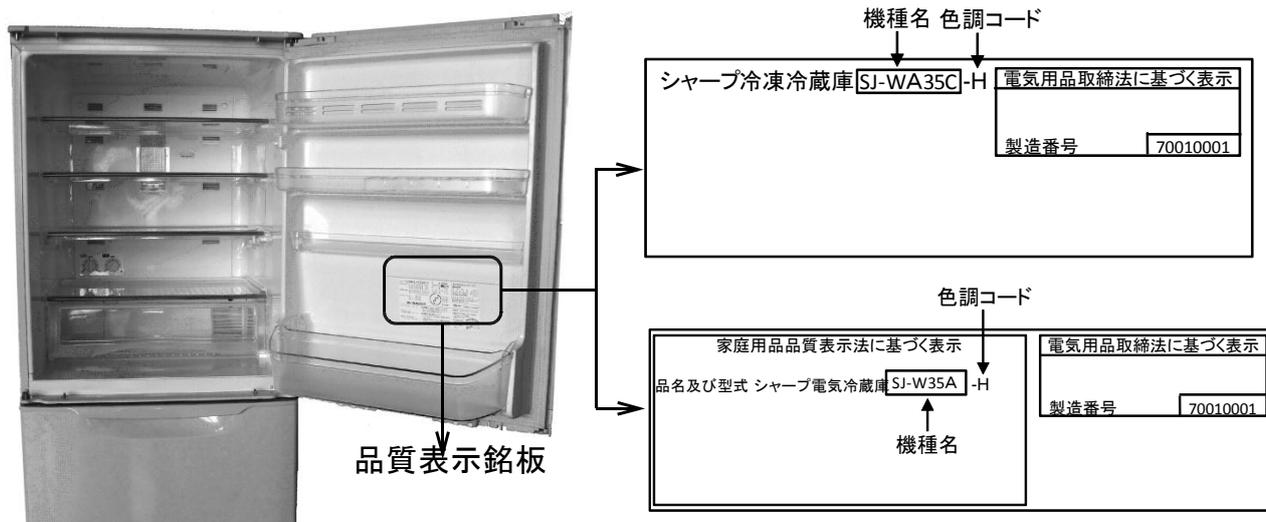
対象製品の外観及び確認方法

1) 対象製品の外観 (写真はSJ-23B)



2) 確認方法

写真例 SJ-WA35C-H



注) 冷蔵庫ドア内側に、右図様式のいずれかの品質表示銘板が貼付されています。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(シャープ株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-404-511

受付時間：9時～18時 (月～土曜日)

9時～17時 (日曜・祝日)

ホームページ：http://www.sharp.co.jp/support/announce/sj_info_120416.html

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、川船^{かわふね}
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(東陶機器株式会社(現 TOTO株式会社)が製造した温水洗浄便座についての発表資料に関する問合せ先)

(シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 宮下、角田、古田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300167	平成25年5月24日	平成25年6月3日	石油ストーブ(開放式)	SX-A220	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	北海道	
A201300175	平成25年5月30日	平成25年6月5日	油だき温水ボイラ	MBX-4500	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を使用中、火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	北海道	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300169	平成25年5月16日	平成25年6月3日	モップ絞り器	CE-440-000 エールスクイ ザーC型	株式会社テラモト	重傷1名	当該製品を使用中、パネの金属片が飛び、負傷した。現在、原因を調査中。	広島県	
A201300172	平成25年5月30日	平成25年6月5日	電気洗濯機	W6232	株式会社ツナシマ商事 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、プレーカーが作動したため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	東京都	
A201300173	平成25年5月29日	平成25年6月5日	温水洗浄便座	TCF970	東陶機器株式会社 (現 TOTO株式会社)	火災	異臭に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 事故原因は、現在、調査中であるが、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、部品メーカーにより特定期間内に製造したコネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動により、メッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱しました。その影響により、コントローラー基板上のはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	兵庫県	平成19年4月16日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 77.0% 6月6日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300176	平成25年5月27日	平成25年6月5日	電気冷蔵庫	SJ-23B	シャープ株式会社 (輸入事業者)	火災	異臭に気付き確認すると、当該製品から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー(起動用電気部品)内のPTC素子(電流を制御する部品)の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損して製品の内部部品を焼損する火災に至ったものと考えられる。	神奈川県	平成24年4月16日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 20.7%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300168	平成25年4月17日	平成25年6月3日	脚立	重傷1名	当該製品に乗って剪定作業中、転倒し、負傷した。当該製品の脚部が曲がっており、使用状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	事業者が事故を認識したのは、5月28日
A201300170	平成25年5月1日	平成25年6月4日	カーペット	重傷1名	当該製品の上で運動中、滑って転倒し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは、5月28日
A201300171	平成25年5月20日	平成25年6月4日	換気扇	火災	異音に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品が数年前から故障していた状況を含め、現在、原因を調査中。	三重県	製造から35年以上経過した製品
A201300174	平成25年5月24日	平成25年6月5日	脚立(アルミニウム合金製)	重傷1名	当該製品で作業中、転倒し、負傷した。当該製品の脚部が曲がっており、使用状況を含め、現在、原因を調査中。	福岡県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

モップ絞り器（管理番号：A201300169）



電気洗濯機（管理番号：A201300172）

